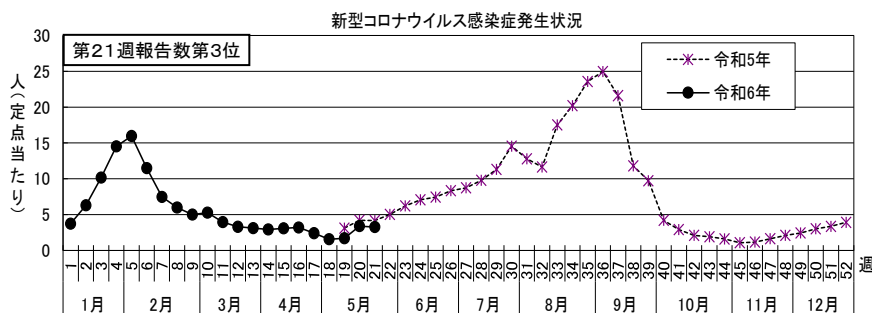
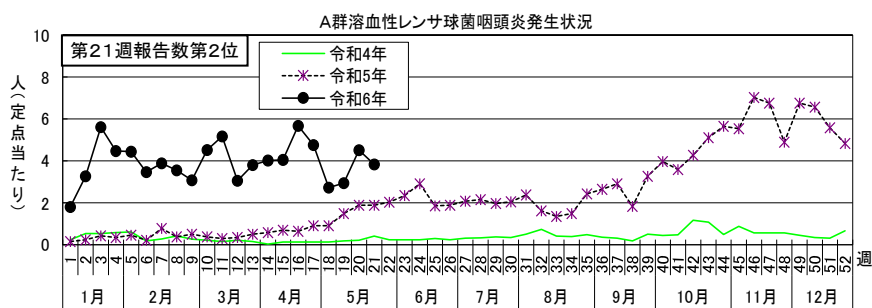
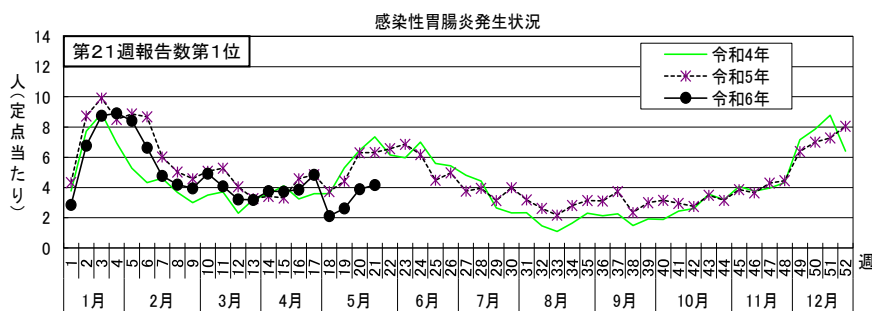


今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

令和6年5月20日（月）～令和6年5月26日（日）〔令和6年第21週〕の感染症発生状況

第21週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1）感染性胃腸炎 2）A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3）新型コロナウイルス感染症でした。
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は4.17人と前週（3.89人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。
 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は3.83人と前週（4.51人）から横ばいで、例年より高いレベルで推移しています。
 新型コロナウイルス感染症の定点当たり患者報告数は3.28人と前週（3.41人）から横ばいでした。

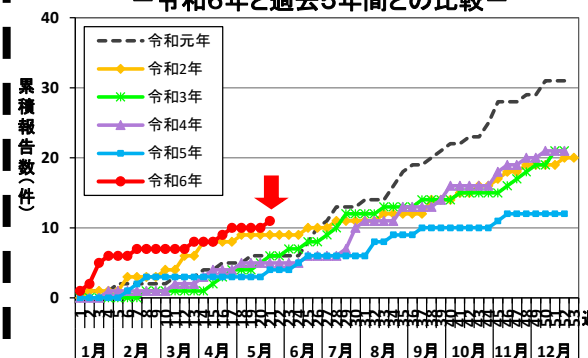


こんな病気知っていますか？～レジオネラ症～

レジオネラ症は、例年夏から秋にかけて報告数が増加する傾向がありますが、今年は第21週（5月20日～26日）までに既に計11件と、過去5年間で比較して最多となっています。

主な病型として、肺炎を引き起こすレジオネラ肺炎と、一過性のかぜ様症状を呈するポンティアック熱があり、レジオネラ肺炎は38℃以上の高熱や呼吸困難に加え、下痢等の消化器症状や意識障害等の中枢神経症状もみられます。特に高齢者は肺炎を起こす危険性が高く、適切な治療がなされなかった場合には、命にかかわることもあります。抗菌薬による治療が有効ですので、高熱や咳等が続く場合は、早めに医療機関を受診しましょう。

川崎市におけるレジオネラ症の累積報告数の推移
 —令和6年と過去5年間との比較—



レジオネラ症とは？

【主な症状】

- ・レジオネラ肺炎
 ⇒発熱、咳、呼吸困難、意識障害、下痢等
- ・ポンティアック熱（肺炎にならない自然治癒型）
 ⇒突然の発熱、インフルエンザ様症状等

【潜伏期間】

2～10日間

【感染経路】

レジオネラ属菌に汚染されたエアロゾル（空気中に浮遊している粒子）を吸引することにより感染
 ※お風呂や加湿器の水等は新しいものを使用し、清潔を保ちましょう。
 ※人から人に感染することはありません。
 ※エアロゾルが発生する作業ではマスクを着用しましょう。

